

平成 25 年度の工学部・工学研究科の教育、研究等における教員の活動状況について

平成 26 年 7 月 1 日

工学部評価委員会

静岡大学では、個々の教員の教育、研究、社会・産学官連携、国際交流等における活動状況は、教員データベースにおいて公表しています。ここでは、教員データベースのデータを基に、平成 25 年度の工学部・工学研究科の所属教員ベースの教育、研究等の諸活動の状況をまとめましたので、ここに公表します。なお、工学部・工学研究科では、毎年「教育研究活動報告書」を作成して公表しています。学科・専攻や教員個々の詳細な活動については、教育研究活動報告書をご覧ください。

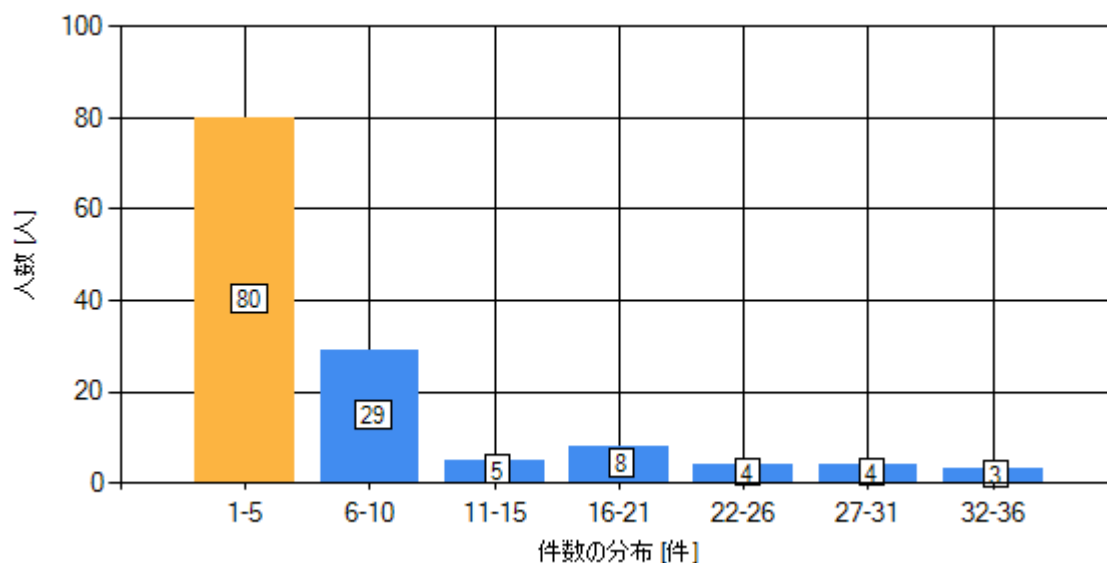
[学部基本情報] 工学部・工学研究科所属教員数 196 名（テニュアトラック教員を含む）

<教育>

1. 教員の授業担当本数（学士課程）（全学共通公表項目）

工学部・工学研究科では、各学科・専攻の教育方針に沿いカリキュラムが編成され授業が構成されています。平成 25 年度の改組にともない、平成 25 年度は、工学部 1 年生に向けた改組後の新カリキュラムの授業と、2 年生以上に向けた旧カリキュラムの授業がありました。工学部・工学研究科では、所属教員ベースで合計 947.2 本の学士課程科目（全学教育科目および学部専門科目）の授業を担当し、平均では教員一人当たり 4.8 本の授業を担当しています。多くの教員は、1～5 本の授業を担当しています。年間開講科目数は教養科目で 1,011 本、学部科目で 460 本です。工学部・工学研究科のほぼ全ての教員が授業を担当しており、教員 1 人あたりの授業担当数は昨年と変わりありません。

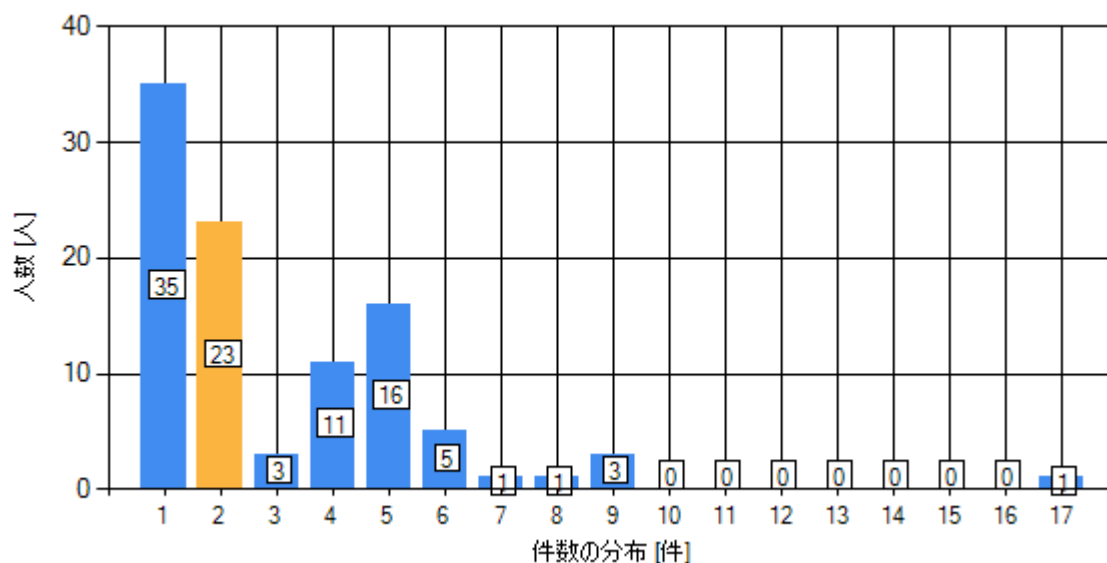
[平均 4.8 本]



教員の授業担当本数（修士課程）

工学研究科では、所属教員ベースで合計 305.85 本の修士課程科目の授業を担当し、平均では教員一人当たり 1.6 本の授業を担当しています。多くの教員は、1～2 本の授業を担当しています。

[平均 1.6 本]



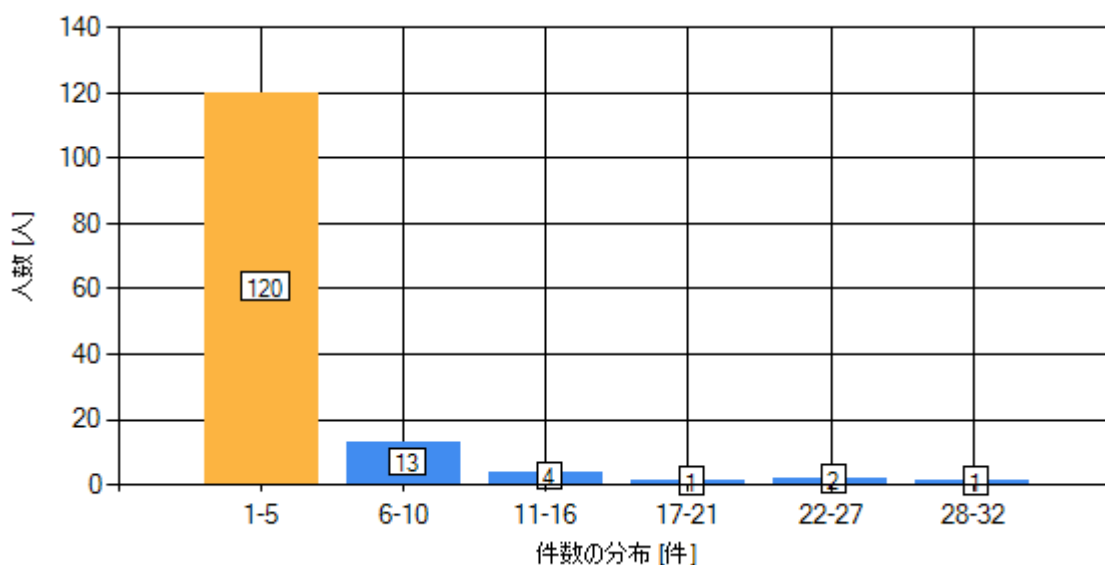
工学部・工学研究科のカリキュラムは各学科のホームページで紹介されています。旧カリキュラムのウェブサイトは <http://www.eng.shizuoka.ac.jp/introductions/p01/> です。教員それぞれの授業担当状況は該当年度の教育研究報告書をご覧ください。

< 研究 >

2 (1). 研究論文（査読付）発表状況（全学共通公表項目）

工学部・工学研究科は、所属教員ベースで合計 555 本の研究論文（査読付）を発表し、教員一人当たり平均 2.8 本を発表しました。論文 1～5 本を発表した教員は 120 名で、6 本以上発表した教員も 21 名いました。前年度（平成 24 年度）の研究論文（査読付）の発表は、平均 2.5 本であり、発表論文数は増加しています。

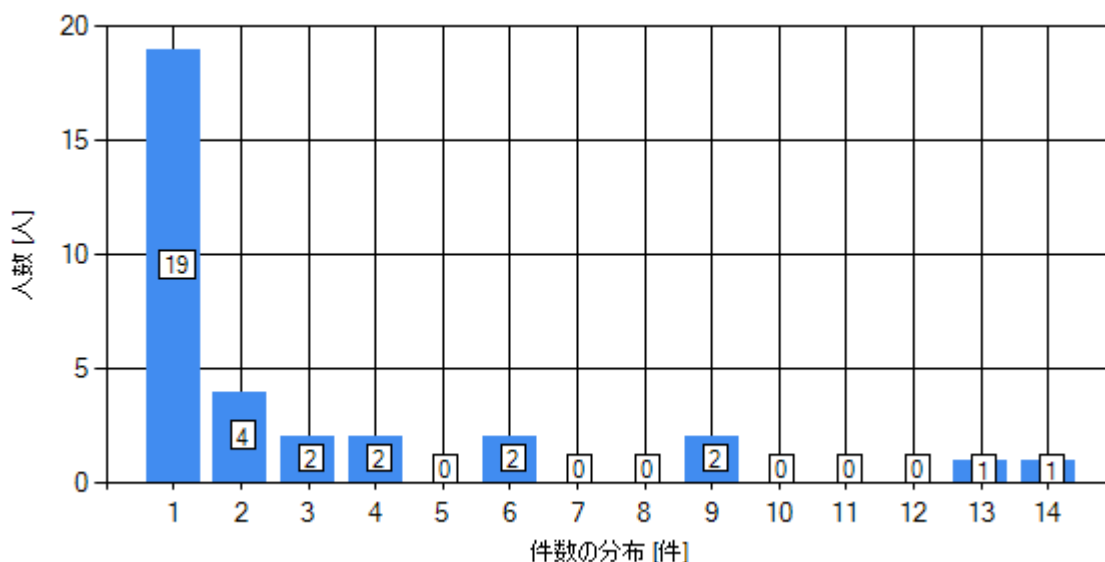
[平均 2.8 本]



2 (2). 研究論文（査読無）発表状況（全学共通公表項目）

工学部・工学研究科では、所属教員ベースで合計 98 本の研究論文（査読無）を発表し、教員一人当たり平均 0.5 本を発表しました。論文 1～3 本を発表した教員は 25 名で、6 本以上発表した教員も 6 名いました。理工系では査読のない論文の評価が低いため、査読のある論文に比べて少ない値となっています。

[平均 0.5 本]

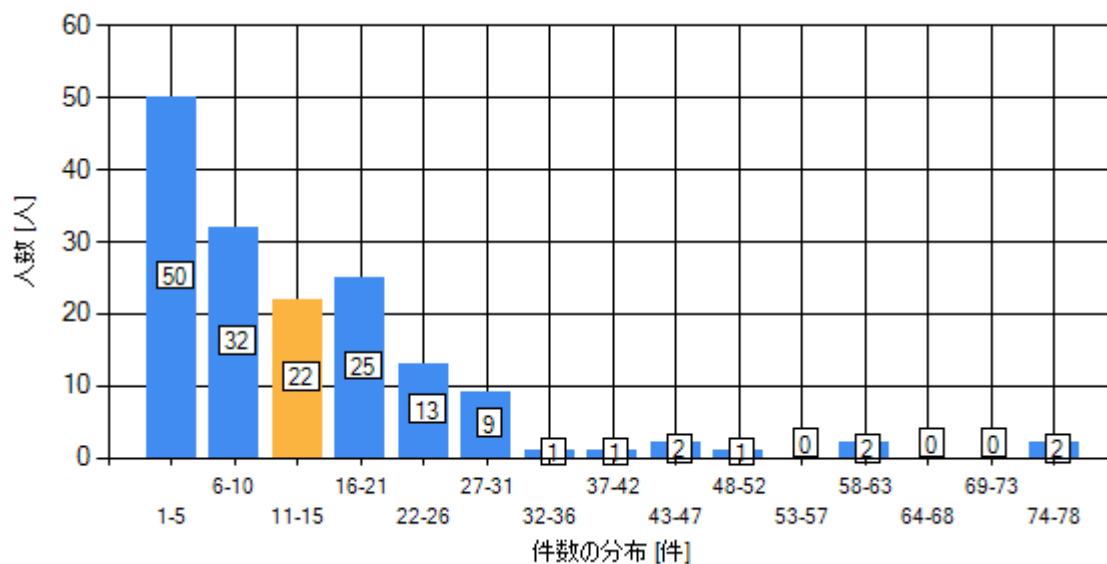


3. 学会発表・研究発表の状況（全学共通公表項目）

工学部・工学研究科では、所属教員ベースで合計 2,200 回の学会発表・研究発表を行い、教員一人当たり平均 11.2 回の発表を行いました。前年度（平成 24 年度）発表数の平均は 9.4 回であり、学会発表・研究発表の回数が大幅に上昇しています。また工学部では平成 21 年度から、工学部プロジェクトをスタートしました。プロジェクトに参加された教員より

多くの論文発表や学会発表がされています。プロジェクトの詳細は
<http://www.eng.shizuoka.ac.jp/researches/p02/>
 を御覧ください。

[平均 11.2 回]



4. 著書等の発表状況（全学共通公表項目）

工学部・工学研究科は、所属教員ベースで合計 70 件の著書等を公表し、教員一人あたりでは平均 0.4 件でした。

	合計(件)	平均(件)
単著書	10	0.1
共著	54	0.3
編著	6	0
合計	70	

5. 受賞・研究助成等の状況（全学共通公表項目）

工学部・工学研究科は、所属教員ベースで合計 108 件の受賞・研究助成を受け、教員一人あたりでは平均 0.5 件でした。

	合計(件)	平均(件)
受賞	49	0.2
研究助成	45	0.2
その他	14	0.1
合計	108	

6. 科学研究費助成事業の採択状況（全学共通公表項目）

工学部・工学研究科では、所属教員ベースで合計 121 件（415,418,288 円）の科学研究費助成事業の採択を受け、教員一人当たりでは平均 0.6 件（2,119,481 円）でした。件数、金額ともに、前年度（平成 24 年度）から微増していますが大きな変化はありません。

研究種目	件数	合計金額(円)
基盤研究(A)	4	49,530,000
基盤研究(B)	23	113,620,000
基盤研究(C)	46	77,610,000
基盤研究(S)	2	65,520,000
若手研究(A)	4	20,410,000
若手研究(B)	16	27,249,751
新学術領域研究	1	3,098,537
新学術領域研究 (研究領域提案型)	3	19,760,000
挑戦的萌芽研究	19	35,620,000
特別研究員奨励費	3	3,000,000
合計	121	415,418,288

※代表者のみを集計

<社会・産学官連携>（全学共通公表項目）

7. 工学部・工学研究科は、所属教員ベースにおける社会・産学官連携活動は 755 件でした。

	件数	平均
講師・イベント等	171	0.9
報道	75	0.4
学外の審議会・委員会等	276	1.4
その他社会活動	54	0.3
合計	576	

	件数	合計金額(円)
国内共同研究	129	160,594,701
出資金による受託研究	35	386,949,528
企業等からの受託研究	7	11,614,790
その他	8	20,321,814
合計	179	579,480,833

※代表者のみを集計

<国際交流> (全学共通公表項目)

8. 工学部・工学研究科では、所属教員ベースにおける国際交流活動は 91 件でした。

	件数	平均
国際協力事業	7	0
留学生受入	70	0.4
その他国際貢献実績	14	0.3
合計	91	

工学部・工学研究科では、海外研究機関との研究室交流による国際的リーダーシップ人材育成を目指して、Short Stay Short Visit (以下では SSSV)プログラムを実施しています。本プログラムは、海外の大学との研究室レベルでの日本人学生と外国人学生の積極的な交流によって、研究における外国語能力、発表討論能力、国際感覚の重要性を認識して、自律性を持って学び自己発展することを目的としています。プログラムは【学生の派遣】(Short Visit)と【学生の受入】(Short Stay)の二つの柱からなり、平成 25 年度本プログラムの SV には 13 グループ、SS には 4 グループが参加しました。SSSV の活動の詳細に関しましては、

http://www.eng.shizuoka.ac.jp/en_internationals/program
をご参照ください。